

新たな一歩
歩み出す

町内で
入学・入園式

4月6日、町内の2小学校・2中学校で入学式が行われました。

新入生たちは、真新しいランドセルや学生服に身を包み、保護者や先生、先輩たちが温かく見守る中、希望に満ち溢れた新たな一歩を踏み出しました。

また、9日には2幼稚園で入園式が行われ、新入園児たちは保護者に手を引かれながら、少し緊張した面持ちながらも、名前を呼ばれると元気いっぱい返事をし、晴れの姿をお父さんやお母さんに見せていました。



元気に返事をする新入園児
(小平幼稚園)



少し緊張した面持ちで式に参加する新入学児童
(鬼鹿小学校)



新入生代表による誓いの言葉
(小平中学校)

3 | 22
避難から
丸1年

岩手から避難の
鳥居さんに
ねぎらいの花束

昨年3月から、小平町に住む長女のもとへ避難し身を寄せている鳥居キヨエさんに、関町長からねぎらいの花束が手渡されました。

東日本大震災による被害を受けた岩手県宮古市から避難し、小平町で生活を始めてから1年がたった鳥居さんのお見舞いに訪れた関町長は、「困ったことがあれば、手助けいたします」と、花束を手渡しました。花束を受け取った鳥居さんは、いつか岩手に戻ることができるよう、1日も早い被災地の復興を願っていました。



ねぎらいの花束を手にする鳥居さん

3 | 30
新入学児童
の交通安全
願い

町商工会女性部
が交通安全マス
コット寄贈

町商工会女性部が、今春町内の小学校に入学した新入学児童たちの交通事故防止を願い、手作りの鈴型マスコットを町交通安全推進協議会に贈りました。

役場を訪れた加野鳥雅子部長と黒啓子副部长、山内妙子副部长が「新入学児童がこの鈴を付け、交通安全に気を付けて、毎日元気に登校してほしい」と話し、関町長にマスコットを手渡しました。寄贈されたマスコットは、各学校を通じ新1年生に手渡されました。



マスコットを通じ交通安全を願う
町商工会女性部